



議会だより

きっかわはるな

今回の題字は、**吉川春菜**さん（根野小学校6年生）です。



学びいっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい
安芸高田市立根野小学校



特色ある取組（理科実験）



特色ある取組（全校合唱）



連携教育の推進（合同遠足）



郷土理解学習（水車米）

6月定例会 2～3

26年度政務活動費 14

常任委員会報告 4～7

あんなこんな

地域のかがやき 18

一問一答

12人が市政を問う 8～13

会議規則を改正 欠席の理由に 「出産」を明示

男女共同参画を考慮した議会活動を促進

6月定例会

6月定例会を6月19日から7月3日までの会期で開催しました。

予算決算常任委員会へ1議案を付託し、原案のとおり可決しました。(常任委員会審査は4ページに掲載)

本定例会において諮問3件・同意1件・承認2件・議案3件は、すべて原案のとおり可決しました。

一般質問では、12人が市政を問いました。(8～13ページに掲載)

議員提出議案

市議会会議規則の一部を改正する規則

(概要)

女性議員が活躍できる環境を整備して議会を活性化し、よりよいサービスを実現するため、出産に伴う議会の欠席に関する規定を明確に設けるもの。

全員賛成

(欠席等の届出)

「議員は、出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長(委員長)に欠席届を提出することができる。」を加える。



安芸高田市議会 意見書提出

■意見書（2件）

■教育予算を増額し、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書について
（内容は6ページに掲載）

全員賛成

■地方財政の充実・強化を求める意見書について

明らかな景気回復が見通せない現在の状況の中で、平成28年度の地方財政予算全体の安定確保に向けて、国に対して「地方財政の充実・強化」を求めるもの。

全員賛成

■諮問（3件）

人権擁護委員の推薦

中本 吉徳さん

八千代町上根

乗田 省三さん

八千代町佐々井

迫広 淑文さん

吉田町吉田

承認

■同意（1件）

公平委員会委員の選任

門出 浩一さん

八千代町佐々井

同意

付議された案件

条例関係 4件

- 新たな条例制定または廃止・一部改正
- 税条例等の一部を改正する条例
- 国民健康保険税条例の一部を改正する条例

予算関係 1件

- 27年度一般会計補正予算（第1号）

○情報公開条例の一部を改正する条例

○手数料条例の一部を改正する条例

議会改革特別委員会

議会基本条例の制定にむけて設置

- 議会報告会
- 正副議長選挙
- 議員定数
- 倫理規程 ほか

委員長 藤井昌之
副委員長 先川和幸
委員 議長を除く全議員

27年度補正

一般会計

5466万4000円増

(総額 200億466万4000円)

可決

(単位:円)

区分	金額	内訳
施設の修繕など	8,532,000	2,118,000 高宮支所、人権会館水路脇にフェンス設置
		430,000 美土里支所トイレ改修
		1,500,000 甲田支所高圧ケーブル更新
		1,071,000 美土里堆肥センター高圧受電設備改修
		2,500,000 食肉処理施設浄化槽設置施工方法変更
		913,000 その他修繕
県事業の追加配分など	29,452,000	19,402,000 森林整備加速化・林業再生交付金(森林組合等に事業を委託)
		1,050,000 鳥獣害に強い集落等育成推進事業(3地区を選定して、鳥獣害対策)
		9,000,000 中北川根線追加工事
その他	16,680,000	2,080,000 建設事業等の労務単価の見直し(地籍調査、林道維持管理)
		4,008,000 地域おこし協力隊員 当初予算比1名増を反映
		10,412,000 財政調整基金積立て
		180,000 その他
合計	54,664,000	

予算決算

予算決算常任委員会

6月19日の本会議で付託された、27年度補正予算について、6月22日に委員会を開き、慎重に審査しました。

委員長 金行哲昭
副委員長 秋田雅朝
委員

議長を除く全議員

質疑

Q 有害鳥獣対策事業費の、原材料費と備品購入費について詳細な説明を。

A 「鳥獣害に強い集落等育成推進事業」という県の補助事業により、集落等で有害鳥獣被害対策の勉強などを行いながら、モデル的に防護柵やネット、夜間撮影用カメラを設置してその効果を検証する事業で、その資材やカメラの購入代となる。



設置例 (ダイレクトツリーマウント使用)

有害鳥獣の夜間撮影用カメラ (モデル地区に設置予定)

総務企画常任委員会

6月26日に委員会を開き、陳情1件を慎重に審査しました。また、2件の所管事務調査を行いました。

(所管事務調査)

- 危機管理マニュアルについて
- ICT利活用事業における公募結果及びモニター実施について

(報告事項)

- 社会保障・税番号(マイナンバー)制度の導入について

ほか1件

- 委員長 石飛慶久
- 副委員長 玉井直子
- 委員 水戸眞悟
- 委員 熊高昌三
- 委員 藤井昌之
- 委員 山本優

社会保障・税番号(マイナンバー)制度の導入について

■質疑

藤井 年金機構の個人情報漏えい問題で、スケジュールに遅れが生じないか。
土井総務課長 今度の法改正は、平成30年度から金融機関の預金口座に適用できる手続きのための内容で、10月5日施行後の住民への通知カードの発送、来年1月からの国での利用に影響はない。

熊高 寝たきりの方や高齢者、障害者の方など、写真付きカードの申請が難しい方への対応は。
土井総務課長 住民票があっても施設に入所されている方もあるので、福祉関係、各支所とも連携を深めながら、10月からの事務に遺漏のないような体制で現在準備を進めている。

【マイナンバー制度】

マイナンバーとは、国民一人ひとりが持つ12ケタの個人番号のことです。

マイナンバー制度(社会保障・税番号制度)は、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であるということの確認を行うための基盤であり、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤(インフラ)となります。

危機管理マニュアル

■質疑

熊高 マダニやノロウイルスの感染症の発生についての取り組みは。

青山危機管理課長 総務部長・福祉保健部長・危機管理課と今後の対応を検討した。人との感染には該当しないという中で、次の被害が想定されるため、お太助フォンで市民への注意喚起を行った。

ノロウイルスは感染力があるので、市全体に感染のおそれがある場合、災害対策本部の設置、保健所との連携を強化していく。

水戸 全世帯にマダニ感染症についての予防策の対応は。
杉安総務部長 マダニの広報については、関係課と協議しながら対応したい。



マダニ (広島県立総合技術研究所 保健環境センター提供)

■陳情

「安全保障関連法案の策定の中止を求める陳情」の件については、その趣旨を採択することに決定しました。

※趣旨採択の場合 は、意見書の提出は行いません。

文教厚生常任委員会

6月29日に委員会を開き、陳情1件を慎重に審査しました。また、3件の所管事務調査を行いました。

(所管事務調査)

○安芸高田市葬斎場
あじさい聖苑の運営状況について

○国民健康保険の現状と国保改革に伴う広域化について

(陳情・要望等)

○教育予算を増額し、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書提出に関する陳情

- 委員長 前重昌敬
副委員長 久保慶子
委員 下岡多美枝
児玉史則
金行哲昭
青原敏治

あじさい聖苑利用状況



お別れ室

■質疑

下岡 あじさい聖苑が稼働して2年経過するが、火葬の台の寿命は。中村環境生活課長 火葬炉台車耐火物は3台あり、目安として1台あたり約500回で交換するもの。状態を見ながら年度末に向け交換予定。1台約50万円の費用がかかる。

	火葬	通夜	葬儀	待合室	霊安室	火葬ペット	手術肢体葬
H26年度	517回	42回	60回	203回	26日	133回	0回
H25年度	475回	31回	47回	139回	8日	127回	1回

利用者アンケートに
対しての執行部の回答

- 斎場職員の接遇・儀式のサポートについて、親切・丁寧・心温まる等の声が寄せられている。
- アンケート結果をもとに、改善すべきところはしていく。

陳情

「教育予算を増額し、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書提出に関する陳情」

〔陳情者〕 広島県教職員組合安芸高田支区

〔要旨〕 次の件につき国に対し意見書の提出を求めるもの。

- ・教育の自治体間格差を生じさせないために、義務教育費国庫負担制度について国庫負担率を2分の1に復元することを含め、制度を堅持すること。
- ・学校施設整備費、就学援助・奨学金、学校・通学路の安全対策など、教育予算の充実のための地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

〔審査結果について〕

文教厚生委員会で採択し、本会議にて全員賛成により意見書を政府に対して提出することとなりました。

6月30日に委員会を開き、1件の所管事務調査を行いました。

○道の駅整備状況について
(所管事務調査)

○プレミアム付商品券販売の取り組みについて
(報告事項)
ほか4件

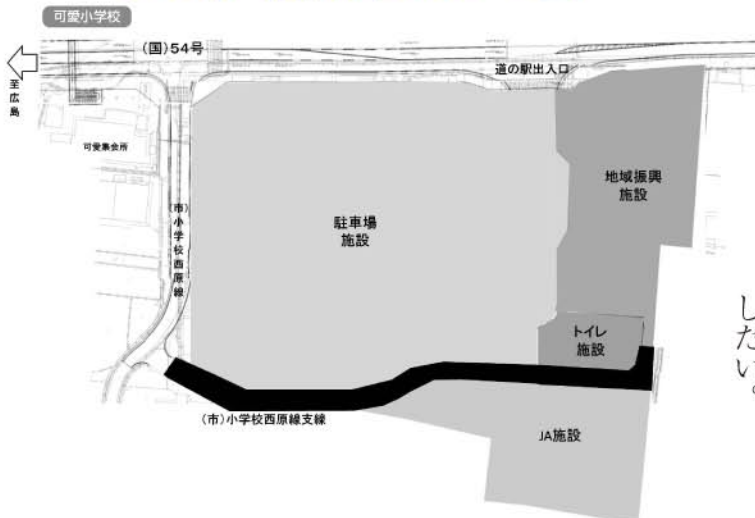
委員長
副委員長
委員

大下正幸
秋田雅朝
玉重輝吉
先川和幸
穴戸邦夫
塚本近

『道の駅』整備状況

○ 3月3日に国から見直し案を受け、市としては予算を最小限に抑え効率的な道の駅を目指し、現在、国と協議を行いながら再検討中

道の駅 施設配置イメージ図



※施設配置については現段階では確定していません

■質疑

玉重 「6月定例会までに方針を固め、議会や市民に説明する」と報道されたが、目途は。

浜田市長 この道の駅は、商業施設と駐車場等の公共施設とあるが、商業施設の

交付金の対象認識が国・県と違っていた。新しい道の駅は、多目的な要素があるので、農業振興・観光振興という補助金が取れないか勉強し、挑戦しているので時間がかかっている。来年度の予算要求には間に合うようにしたい。

プレミアム付(30%)商品券販売の取り組みについて

○ 当初計画 第1次 全世帯対象 第2次 子育て世帯対象

経過 ※6月30日現在

第1次 すべての世帯を対象に、世帯2冊を限度とし販売
販売冊数 27,000冊。最低販売数(目標) 22,100冊

《実績》第1次 11,874冊。第1次追加販売 2,269冊。合計 17,395冊

第2次 子育て世帯に対し、残数 9,605冊を販売
対象世帯数：2,231世帯。1世帯あたり4冊まで。



市政を問う

一般質問は発言者本人が文章を作成しています。

宍戸 国史跡に値すると思われる内容は、**教育長** 当時の国の中心であった奈良・大阪地域の古墳でみられる要素が極めて顕著な古墳で、日本的視野で評価される。



宍戸 邦夫 (無所属)

甲立古墳

国史跡に値するか

教育長／日本的視野で評価される

宍戸 国指定されるとすればその時期は、**教育長** 11月末頃と考えられる。
宍戸 教育的活用は。**教育長** 家形埴輪のレプリカを使用し、小・中学校を巡回して説明会を行う。また、市民の誰もが郷土の誇りと思えるように啓発が重要。



家形埴輪 (実物) 完全に近い形で復元

宍戸 まちづくりはどう生かすか。**市長** 国指定が確かなものになれば市としての展開を考える。
(その他の質問)
○JR芸備線の活性化について

石飛 計画策定されるメンバーに、奇抜なアイデアを発想される方を入れては。
市長 幅広く外部からの招聘も検討してみたい。
石飛 継続事業を計画に織り込むのか。
市長 市民のためになるか、費用対効果を考慮し持続する。



石飛 慶久 (無所属)

新たな観光振興計画

策定委員会の構成は
市長／幅広く外部からの招聘も検討

大変有効であるが、市民生活に支障を及ぼす。慎重に検討したい。

石飛 広域観光ルートを取り入れては。
市長 多くの提案を受けている。連携中 枢都市計画制度を踏まえ検討する。

石飛 元就没450年記念事業の計画を。
市長 課題として受けとめる。



期待される第三次観光振興計画

一問一答

12人が

青原 早期に地域・園児・児童生徒の安心安全な道を。
市長 幼稚園児の登園や小中学校児童・生徒の通学に危険が及ぶため、早期の歩道整備や道路改良の実施についての要望



青原 敏治
(未来創生会)

市道改良

市道 勝田・根の谷線改良は

市長／必要性は認識している



ひの川幼稚園前の市道

が出されたところである。市としても、急カーブの市道の両側には民家が密集し、見通しが悪く危険な状況であるため、整備の必要性は認識している。
今後については、諸課題を整理しながら、事業の進め方などを検討していきたい。

金行 生活困窮者自立支援法が平成27年4月1日に施行された。我が市も生活にお困りの方が増えており、課題・現況をとらえ、体制整備はどのように取り組んでいくのか。
市長 生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化という法の趣旨から、まず社会福祉課で相談を受ける。4月に6件、5月に2件相談があった。



金行 哲昭
(政友会)

生活支援

生活困窮者自立支援を 市長／まず相談ください

子育て支援事業

金行 子ども、子育て支援事業計画は定



夢と未来がふくらむ子どもたち

住促進につながると考えるが。
市長 今年より平成31年度までの5箇年計画であり、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを支援し、市民に対して積極的に情報を提供していく。

看板管理

安心安全な町づくり

市長／安全第一を
考えている



下岡多美枝
(無所属)

学校の指導方法は、
市長 統一することが大切で、国へ働きかける。
教育長 江の川の名称はローマ字で表現しているThe Gono

下岡 錆びたり、落下しかけた危険な看板の調査や指導は。
市長 市も放置せず指導や啓発を行う。

下岡 54号線のバス時刻表の看板の根元が錆び危険な箇所を見受けるが指導は。
市長 利用者の安全を考え業者に働きかける。

下岡 江の川の看板で英語表現が統一されていないが、また、



江の川の英語表示が場所によって異なっている

- 安芸高田市 (Gono River)
- 安芸高田市 (Gonokawa River)
- 三次市上川立 (GOUNO RIVER)
- 三次市十日市 (GOHNO RIVER)

n O R i v e r と なる。

お太助フォン

下岡 お太助フォンの純正スピーカーは、市民の聞き取りにくいという声に答えて2千個用意されたが普及状況は。
市長 356個購入されている。これからも行政情報を発信する。

道徳教育

教科化の意義について見解は

教育長／教育が平準化・恒常化されること



秋田 雅朝
(未来創生会)

秋田 道徳が教科として実施されるが、この意義についてどう考えているか。

教育長 特別の教科となることにより、教科書が導入され道徳教育が平準化・恒常化されることに意



ゲストティーチャーを招いての授業風景

義があると考える。

秋田 道徳教育の充実には、家庭や地域の更なる連携強化が重要になると考えるが。

教育長 地域公開等で道徳の授業を一般公開したり、地域の方をゲストティーチャーとして迎えて協力を得る取り組み

を行っている。

秋田 道徳教育の成果を本市いじめ防止方針にどう活かすか。

教育長 教育活動を通じ他者と共によりよく生きるという道徳性を養い、いじめのない学校づくりにつなげていきたい。

玉井 高齢化が進んでいる地域での自主防災については。
市長 高齢者の方には組織による早めの自主避難を呼びかけ被害の未然防止に努める。今年度「避難

玉井 自主防災組織の実態の把握は。
市長 80組織で組織率は90・7%。行政、自主防災組織が一体となり災害から命を守る行動をとれるよう減災の推進を図る。



玉井 直子
 (未来創生会)

自主防災

高齢化が進んでいる地域の対策は
市長／避難行動要支援者名簿を作成する

行動要支援者名簿」を作成し、消防・警察・地域の民生委員・自主防災組織等の避難支援体制を整える。



6月末に各戸に配布された防災マップ

(その他の質問)
 ○空き家の利活用について

玉井 防災マップの活用については。
市長 6月下旬には各戸に再度配布し、市民が迅速・的確に避難を行えるよう有効活用を望む。

大下 葬儀にあじさい聖苑へ行き、駐車できず帰らなくてはいけない状況がある。駐車場整備の考えは。
市長 一台二台停められないと言われるのも行政としては新たな



大下 正幸
 (未来創生会)

あじさい聖苑
新たな駐車場整備は
市長／駐車場整備はしない

大下 将来建て替える時期に備え、今の場所を整備しておく必要があるのでは。
市長 将来は人口が減るのだから、拡張



少し狭いあじさい聖苑駐車場

大下 若者定住のため、地域と行政が連携をして支援の拡充をしないと若者定住に繋がらないのでは。
市長 各部局連携で支援策の拡充を検討する。

若者定住対策

整備する考えはない。

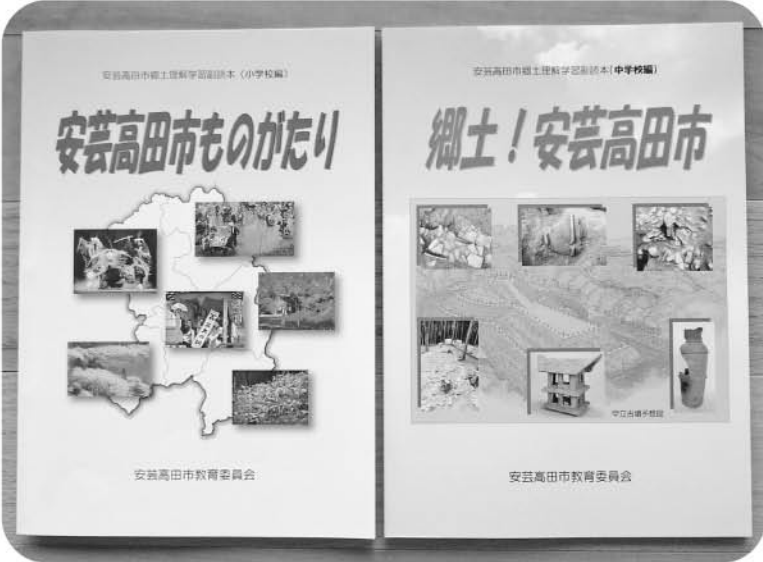
副読本の今後の活用策は

教育長/広く色々な団体、市民等へ提供を前向きに検討



前重 昌敬 (絆)

前重 郷土学習のための副読本を作成されたが、今後の活用策は。
教育長 小・中学校の社会科、総合的学習の時間を中心とした教育活動の中で活用。



幅広い分野に活用が期待される副読本

前重 副読本の指導教本の作成は。
教育長 実践事例集を1、2年かけて作成予定。
 前重 改訂版発行の考えは。
教育長 5年を目途に発行を考えている。

ふるさと応援の会等での活用の考えは。
教育長 広く色々な団体、市民等への提供を前向きに検討していく。
 (その他の質問)
 ○子供から大人が、色々な機会に集まり歌える「讃歌」音頭」等が必要では。



熊高 昌三 (未来創生会)

熊高 清流園(し尿処理場)が昭和52年に建設されたが、その時の地元要望であった作木への橋梁建設や三次江津線道路改良の進捗状況は。
市長 過去3回にわたって覚え書きの更新をしているが、未達成な事項は引き続き広島県へ要望していく。

熊高 三次江津線が長期間通行止めとなっている状況であり、強く要望していただきたい。
市長 約束したから出来るというものは無い。吉田町長時代の調印は勢いで行った。

道路整備

清流園(し尿処理場)設置に伴う道路改良の進捗は
市長 道路管理者である広島県へ引き続き要望する



清流園全景



県道の通行止を示す工事看板

熊高 「勢いで調印した」とは市民に対して無責任ではないか。地域の協力があってこそ施設があることをしっかり受け

止め、強力な要望活動を求めておく。
市長 発言は訂正する。今後はしっかりと受け止め要望していく。

久保 吉田幼稚園の現状は。
教育長 年中12名・年長18名の2学級。正規職員は園長と教諭の2名で教諭は育児休業中。
年中・年長とも非常勤講師が担任。臨



久保 慶子
(未来創生会)

就学前教育

吉田幼稚園の職員配置の充実を

教育長／市長部局と協議を進めていく



安芸高田市立吉田幼稚園

時教諭は、担任補助や預かり保育等を行っている。
今後は、幼保一元化を視野に入れた認定こども園についても議論されることとなるので、市長部局と連携を取り進めていく。

久保 正規職員の配置が、定数の関係等むずかしいことの理解はするが、次年度の体制には配慮を。
教育次長 保育所にも幼稚園教諭の免許を持つ職員がいるので、市長部局の人事担当部署、保育園担当部署と協議を進めていきたい。

児玉 福祉中心型事業から、非正規雇用から正規雇用へ、自立支援に向けた所得向上対策への取組が

児玉 児童扶養手当を受けているひとり親世帯は年々増加傾向にある。その対策と現状は。
市長 経済的支援・24時間保育等、またハローワークと連携して早期就職に向けた支援など行っている。



児玉 史則
(無所属)

ひとり親世帯

ひとり親世帯の貧困対策は

市長／重点施策として取り組む



一時預かり事業

重要ではないか。
市長 大きな問題と認識しているテーマであり、工業会等にもお願いしていくことにも挑戦し、就職を支援する仕組みを作っていく。

児玉 合併して十年が経過したが、新たな農道を調査し、市道に追加する考えは。
市長 行政として見逃すことの出来ない問題であり、合併協議会での認定基準に基づき、新たな認定基準を定め、出来るものから順次進めていく。

市道認定の見直し

26年度 政務活動費収支報告

市政の課題を把握し反映させる活動

14名で504万円交付
333万円支出
 (研修費・資料購入費のみ)
171万円を市へ返納

平成26年度政務活動費収支報告一覧

(単位：円)

	氏名	交付額	支出額	支出内訳		残余金 (返納額)
				研修費	資料購入費	
1	玉重 輝吉	申請なし	—			—
2	玉井 直子	360,000	324,660	315,660	9,000	35,340
3	久保 慶子	360,000	360,000	300,094	59,906	0
4	下岡 多美枝	360,000	360,000	327,750	32,250	0
5	前重 昌敬	360,000	334,614	232,740	101,874	25,386
6	石飛 慶久	申請なし	—			—
7	児玉 史則	申請なし	—			—
8	大下 正幸	360,000	67,182	28,506	38,676	292,818
9	水戸 眞悟	360,000	59,982	28,506	31,476	300,018
10	先川 和幸	360,000	59,982	28,506	31,476	300,018
11	熊高 昌三	360,000	360,000	195,252	164,748	0
12	宍戸 邦夫	申請なし	—			—
13	秋田 雅朝	360,000	299,162	267,686	31,476	60,838
14	塚本 近	360,000	67,182	28,506	38,676	292,818
15	藤井 昌之	360,000	360,000	360,000		0
16	金行 哲昭	360,000	232,736	192,260	40,476	127,264
17	青原 敏治	360,000	219,021	187,545	31,476	140,979
18	山本 優	360,000	224,752	180,712	44,040	135,248
	合計	5,040,000	3,329,273	2,673,723	655,550	1,710,727

※政務活動費を使用した活動による支出額が交付額(年間36万円)を超えている場合は、交付額を記載しています。(超えた部分は自己負担です。)

※すべての支出について、領収書等で確認をしています。

ホームページをご覧ください。

政務活動費を使用した視察や研修などの報告書を掲載しています。

政務活動費あれこれ

政務活動費

条例に基づき、議員の調査研究・活動に要するために必要な経費の一部が交付されます。
 安芸高田市では、議員個人に月額3万円交付されています。

支出の対象項目

条例に定められた項目にしか支出できません。
 (「調査研究費・研修費・資料購入費・資料作成費・広聴費・要請陳情活動費・会議費」)

研修費

研究会などの参加に要する経費(参加費・旅費など)
 図書・資料等の購入に要する経費

政務活動報告書

調査・研修など、安芸高田市外で活動を行った場合は、終了後30日以内に報告書を提出するよう定めています。報告書はホームページに掲載しています。



議会広報特別委員会

7月6・7日で、議会広報特別委員会の先進地視察研修を実施しました。

委員長 秋田雅朝
副委員長 久保慶子
委員 玉重輝吉
委員 玉井直子
委員 下岡多美枝
委員 藤井昌之

より親しまれる 広報誌づくりにむけて

第29回町村議会広報全国コンクール入賞町に学ぶ!

—— 鳥取県 大山町議会・島根県 飯南町議会を視察 ——

—— 研修報告 ——



入選（優秀賞）
第2位 大山町議会

編集・デザイン部門奨励賞
飯南町議会



大山町 編集の理念

- インパクトのある表紙・見出しで読んでみたくなる紙面に
- 住民目線で読みやすい内容に（簡潔な文章・住民が求める内容）
- 議会だよりにしかない情報を
- 会議録や活動報告ではない情報誌

飯南町 編集の留意点

- 構成時のレイアウト
- 構成・内容は年間テーマを決めて
- 表紙・裏表紙はテーマを統一
- 全て議員の責任で行う

研修で学んだこと

市民に「わかりやすい」「読みやすい」など親しまれる広報誌となるために、見出しの重要性、短い文章、議会終了後の早期発行など、学ぶ点の多い研修でした。

両町での研修に基づき、本市で実施している方法を再確認しました。表紙や見出し、レイアウトなど学ぶべきところも多くあり、本市で取り入れられるところは取り入れていきたいと思いました。



組合議会議員
石飛 慶久
大下 正幸
穴戸 邦夫
秋田 雅朝
山本 優

7月8・9日で、
芸北広域環境施設
組合議会の先進地
視察研修を実施し
ました。

芸北広域環境
施設組合議会
(きれいセンター)

研修報告

ごみの減量化に向けた取り組み 方向性について視察研修

岡山県真庭市「生ごみ資源化促進モデル事業」に学ぶ

兵庫県朝来市・養父市
一部事務組合 「南但クリーンセンター(ごみ処理施設)」を視察

真庭市

○家庭ごみ資源化事業を展開中

- 生ごみをバケツで分別収集し堆肥として利用
- 今後は、生ごみやし尿などを活用してつくる肥料「バイオ液肥」の生産を目指す
⇒ごみ・し尿に係る経費年間9億円を約1.5億円削減可(試算)



ゴミステーションで収集して



トラックで運搬

南但クリーンセンター

○生ごみや紙からバイオマス発電を行う日本初の自治体ごみ処理施設

- 小規模施設でもメタン発酵ガスの利用で発電が可能になった。
- 生ごみを機械選別することにより、資源化・燃やすごみの減量化が図られる。



高効率原燃料回収施設(南但クリーンセンター)

生ごみの再資源化にどう取り組むのか!

真庭市では、生ごみをバケツで分別収集し堆肥としての利用、また「バイオ液肥栽培実証事業」の取り組みを行うなど、今後の農産物栽培に活かすことを考えているが、本市でも検討の価値はあると研修しました。

また、朝来市・養父市の一部事務組合で運営する「南但クリーンセンター」では、最新設備により生ごみや紙を機械選別してバイオマス発電に利用することが可能となっており、今後の組合議会で検討すべきと認識しました。

ごみから資源へ、総合的な政策展開を実施し
地域全体の課題として捉える姿勢が必要であると感じました。

中国市議会議長会 議員表彰

○ 正副議長6年 塚本 近

議会のうごき 27年4月～6月の議会の活動状況

月	日	曜日	会議等の名称	会議の主な要旨
4	10	金	議会運営委員会	議会報告会、正副議長立候補制について
	20	月	全員協議会	議会報告会、正副議長立候補制について
	21	火	議会広報特別委員会	議会だより第45号の校正
	28	火	全員協議会(臨時)	議会報告会、正副議長立候補制について
5	11	月	議会広報特別委員会	議会だより第45号の最終校正
	14・21		議会運営委員会	第2回定例会の運営について
	19	火	文教厚生常任委員会	所管部局の事務分掌に関する調査
	20	水	全員協議会	議会報告会について、市長報告
	20	水	総務企画常任委員会	所管部局の事務分掌に関する調査
	21	木	産業建設常任委員会	所管部局の事務分掌に関する調査
6	15	月	議会運営委員会	議会改革特別委員会の設置について ほか
	15	月	議会広報特別委員会	議会だより第46号の編集
	19	金	第2回定例会(開会)	議案の上程
	19	金	全員協議会	会議規則の一部改正について ほか
	22	月	予算決算常任委員会	補正予算の審査
	23～24		第2回定例会(一般質問)	質問者 12名
	26	金	総務企画常任委員会	所管事務の調査、市長報告
	29	月	文教厚生常任委員会	所管事務の調査、市長(教育長)報告
30	火	産業建設常任委員会	所管事務の調査、市長報告	

■ 27年第3回定例会は9月に開催を予定しています。

※詳細は、お太助フォンや市のホームページでお知らせいたします。



安芸高田市
マスコットキャラクター：
たかたん

地域のかがやき

吉田 一心祭りに向けて (7月4日)



可愛地区振興会 (中国からの実習生も参加)

八千代 祭りを支える 縁の下の力持ち



安森・上佐々井区元気になるろう会 ホタルまつり

美土里 地域がふれあう



たんぼぼ祭り (6月28日)

高宮 まごころ込めて 清掃3年



高宮高速バス停 週3回トイレ・周辺掃除 (房後老人会)

甲田 水害・土砂災害に備えて



小原振興会 地域のマップづくり (6月28日)

向原 皆で頑張った ほたる祭



第12回 保垣ほたる・かじか祭り (6月13日)

編集後記

今年「被爆70周年」広島市を中心に各地で記念行事が行われます。平和・戦争への関心が高まる中、7月16日安全保障関連法案が衆議院本会議で可決されました。国会では60日ルールがあり、今後参議院で審議されますが、60日以内で可決されなければ、衆議院に戻され3分の2以上で今国会で成立することになります。これからの審議に関心を持って見守っていきたいと思います。

(藤井 昌之)

〈発行責任者〉

議長 長山 優
 副議長 秋田 雅朝

委員長 久保 慶子
 委員 玉重 輝吉
 玉井 直子

下岡多美枝
 藤井 昌之

